



2021年4月30日

各位

会社名 東武鉄道株式会社
 代表者名 取締役社長 根津 嘉澄
 (コード番号 9001 東証第1部)
 問合せ先 財務部課長 野口 洋輔
 (TEL. 03 - 5962 - 2183)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2021年2月2日に公表した2021年3月期通期業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)と、本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 2021年3月期通期連結業績予想数値と実績との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 492,200	百万円 △18,600	百万円 △17,100	百万円 △27,000	円 銭 △129.42
実績値(B)	496,326	△13,577	△9,892	△24,965	△119.67
増減額(B-A)	4,126	5,023	7,208	2,035	—
増減率(%)	0.8	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	653,874	62,653	58,414	35,530	168.84

2 2021年3月期通期個別業績予想数値と実績との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 166,100	百万円 5,700	百万円 800	百万円 △21,800	円 銭 △104.49
実績値(B)	167,696	7,325	2,950	△21,607	△103.57
増減額(B-A)	1,596	1,625	2,150	193	—
増減率(%)	1.0	28.5	268.8	—	—
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	232,788	47,979	41,980	27,071	128.64

3 差異の理由

2021年2月2日に公表した2021年3月期通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響について、2021年1月の緊急事態宣言等にもとづく社会的制限が1か月程度継続することを前提に、その影響が当期末まで一定程度残るものと仮定し、算定しておりました。しかしながら、緊急事態宣言は延長となったものの、出控え傾向の緩和がみられたことから、当社グループへの影響が想定を下回ったため、実績と業績予想との間に差異が生じました。

(1) 通期（連結）

出控え傾向の緩和がみられたことから、鉄道業及び百貨店業を中心に各事業への影響が想定を下回ったことに加えて、建設業における工事原価率が想定より改善したこと等により、当社グループの業績は前回公表の予想を上回る結果となりました。

(2) 通期（個別）

出控え傾向の緩和がみられたことから、鉄道事業の定期外収入を中心に各事業への影響が想定を下回ったことにより、当社の業績は前回公表の予想を上回る結果となりました。

なお、詳細につきましては、本日別途公表の「2021年3月期決算補足説明資料」をご覧ください。

以 上